

2019 年度第 2 回血液検査機器技術委員会 議事録

1. 開催日時：2019 年 10 月 3 日（木）14：30～16：00
2. 開催場所：パシフィコ横浜 511+512 号室
3. 出席者：久保田、金子、増田、朝比奈、藤巻、新保、内藤、土屋、政元、井上、今田、川手（交代委員 林文明）、加藤、小林（交代委員 春日加奈子）、近藤、長濱、斎藤憲、鈴木、遠見、竹中、中山、森、岩村、大泉、星野
欠席者：稲葉、常名
4. 議題
 - 1) 報告事項
 - (1) 新任委員：今田（川崎医大）、（大泉直文（セラビジョン）
 - (2) 平成 31 年度第 1 回血液検査機器技術委員会議事録確認（資料 1）
朝比奈委員が出席者にも欠席者にも記載漏れがあり、出席者に記載した。
 - (3) 第 9 回血液検査機器技術セミナー最終確認
アンケートの結果としてHPには機器と試薬の回答結果は掲載しなかったが、5 日のセミナー後にHPにスライドに追加する。また、アンケートに協力していただいた ISO 取得施設には御礼文を作成し、メーカーに配布していただく。その文面にアンケート結果がHPに掲載されていることを申し添える。
 - 2) 審議事項
 - (1) 第 10 回血液検査機器技術セミナーについて
 - ① テーマ：「各社血球計数装置の特性について（仮題）」
 - ② 担当：藤巻委員、井上委員6 社（シスメックス、ベックマン・コールター、アボット、シーメンス、堀場製作所、日本光電）の最新主力機種を用いて、主要な疾患（敗血症、骨髄性腫瘍、リンパ性腫瘍）のサイトグラムを比較する。
現在、シスメックスとシーメンスと堀場製作所の測定機器にて 70 症例程度の測定を行った。今後残りのメーカーの機器について東大病院と時期を調整して測定を開始する予定である。第 10 回は腫瘍症例を中心に講演する方向で検討を進める。セミナーでは第 2 回から 8 年経っていることから、測定原理についての解説を各社にしてもらうが、6 社なので 1 時間くらいかかり、セミナーを 3 時間枠がとれるように交渉してみる。特別講演として、WHO の遺伝子変異などが候補として出た。増田委員に講師の候補を検討してもらう。
 - (2) 第 11 回血液検査機器技術セミナーについて
 - ① テーマ：「未定」
 - ② 担当：新保委員、常名委員・第 10 回のセミナーでは 6 社の基本的パターンを比較するが、そこから

得られた知見をもとに、各種変動要因を比較する。
第10回で講演できない破碎赤血球、血小板凝集等の腫瘍系以外の症例について、講演する方向で検討を進めている

(3) 第12回血液検査機器技術セミナーについて

内容として波形解析、標準化、検体の取り扱いなど凝固検査についての講演を検討することとなった。

(4) 血液技術委員会内規案について（資料2）

6条と16条に日本臨床検査自動化学会の名称があるが、2020年1月から名称変更されるので、施行をいつにするかで、変更などの手続きが必要となる。

5. その他

委員の退任として竹中英樹委員（日立化成ダイアグノスティックス・システムズ株式会社）、交代として川手康徳委員から林文明委員（シスメックス株式会社）、小林浩伸委員から春日加奈子委員（シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス）に委員の交代の申し出があり、理事会への申請を行う。